

広島大学附属中学校

実施日：令和5年2月8日（水）14：10～15：30

講師：外務省 大臣官房G7広島サミット事務局 副事務局長 溝渕 将史

形式：対面

内容：講座

参加人数：127名

当日の様子



参加者の主な感想

- ・今回のお話のおかげで外交官の仕事やG7サミットのことだけでなく、広島の魅力についても知り、学びたいことが増えました。
- ・G7サミットが今回広島で開催されることを機会に平和などのことを考えてみたいと思った。
- ・G7サミットが広島で開催されるのは大きな意味を持つものだとわかった。
- ・G7サミットを広島で開催することは、広島を発信するのと同時に「平和」について自分たち一人ひとりが考えることができるためだとわかった。
- ・今回のG7サミットをきっかけに自分のやりたい事や自分が暮らしている広島、日本についてもっと知っていろいろな人々に伝えられるようにしたいです。
- ・今日のお話を聞いて、サミットや世界で起きている問題についてももっと調べてみたいと思いました。
- ・このような体験は初めてで、G7サミットのことや外国のことを聞くことが出来てとても楽しかったです。
- ・外交は以外にも自分たちの生活にかなり関係があることを知り、もっと世界について考えたくくなりました。
- ・先生のお話を聞いて、海外で働く仕事に興味を持ちました。
- ・外務省の仕事を細かく知ることが出来たし、外国で働いている職員の人数が多いことを知り驚きました。
- ・お話を聞いて「相手のことを知り、誠実に」、というコミュニケーションで大切なことを知ることが出来た。
- ・サミット塾を通して自分や社会を見つめなおす機会をくださり本当にありがとうございました。
- ・「人生すべてに意味がある」とおっしゃっていただいたことがとても印象に残りました。
- ・今日のお話を聞いて自分たちがこれからの社会を変えなければならないのだと強く感じました。